

第2・3回 東伏見駅周辺まちづくり懇談会における意見交換の進め方

◆懇談会における意見交換の方式

- 第2・3回懇談会では、5～6名のグループ形式での意見交換を行うことで、参加された方々から多くの意見をいただきやすい形式での懇談会といたします。
- 各回それぞれ2つのテーマ（合計4つのテーマ）について、意見交換をしていただきます。
第2回懇談会のテーマ：駅周辺、住宅地
第3回懇談会のテーマ：みどり・水辺・景観、交通
- なお、意見交換の進め方については、大きく以下の流れを考えています。

（１）現況及び考えられる課題の説明

第1回懇談会において使用した資料の中から現況について整理し、考えられる課題を例示します。



（２）参加者が日頃感じている課題の整理（10分程度）

説明を受けた後に、参加されている皆様が日頃感じている地域の課題をポストイット（付箋紙）に記入してください。（（１）で整理した現況だけに限る必要はありません。）

【ポストイットに課題を記入する際のお願い】

- 1つのポストイットには1つの課題を簡潔に記入してください。
- ポストイットの数についての制限はございません。



（３）課題の説明（25分程度）

皆様に記入して頂いた課題について各々説明をしていただきます。

【説明の流れ】（詳しくは裏面をご確認ください。）

- ①最初の方が1枚のポストイットについて、課題と思われる地域に貼り付け、意見を発表します。
- ②まず、同じ地域で、その人と同様の事を記入している人がいる場合は、ポストイットを貼り、意見を追加発表します。
- ③次に、違う地域で、同様の事を記入している人がいる場合は、対象の地域にポストイットを貼り、意見を追加発表します。
- ④同様の意見がなくなった場合には、①で発表した人の左側の人が次の意見を発表します。
- ⑤ポストイットがなくなるまで、①～④を続けます。



（４）グループで出た意見の発表

最後に、他のグループとの意見共有のために、どのような意見が出たかについてグループごとに2分程度で発表を行います。発表するテーブル前にお集まりください。

【意見の集約⇒図面の活用イメージ】

- ①参加者 A が意見 A について、課題と思われる地域にポストイットを貼り付け、意見を発表する。
- ②まず、同じ地域で、意見 A と同様の事を記入している人（参加者 B）がいる場合は、ポストイットを貼り、意見を追加発表する。
- ③次に、違う地域で、意見 A と同様の事を記入している人（参加者 C）がいる場合は、対象の地域にポストイットを貼り、意見を追加発表する。
- ④意見 A に関する発表が終了した場合には、参加者 B が意見 B を発表する。
- ⑤ポストイットがなくなるまで、①～④を続ける。

